

テーマ 『10年後の学校を考えよう』

開催日時・会場

- ✚ 平成24年1月21日（土）14時30分～17時30分
- ✚ 佐久合同庁舎講堂

参加者

- ✚ 熟議参加者 40名（5グループ）  
公募の県民：16名、中学生：6名、高校生8名、県関係者：5名（阿部知事、高木教育委員、生田教育委員、山口教育長、小嶋次世代サポート課長）、ファシリテーター：5名
- ✚ 傍聴者 約30名



参加者からこんなご意見が集まりました。

- ✚ それぞれの学校でも、子どもたち、地域住民、先生などが一緒になって課題や悩みを話す「熟議」を広げたい。
- ✚ 教員が、時間的・気持ち的な余裕を持つために、大学生や退職した先生など地域の人材を活用して、余裕のある学校にしていきたい。
- ✚ インターネット等を通じて、地域の方に得意分野、名人などの情報を登録してもらい、教育に地域の人材活用を進めてほしい。
- ✚ 地域人材と学校を繋げるコーディネーターの設置が有効ではないか。
- ✚ 学校にお金がない問題は、学校、企業間にギブアンドテイクの関係をつくる。企業にお金を投資してもらい、学校は企業宣伝を行う。
- ✚ 毎月1回、様々な職業体験を行うことで、地域との交流プラス学力も高められるのではないか。
- ✚ 子どもたちが人生設計を描けるようにするために、学校において、キャリア教育を充実すれば、即効性があるのではないか。
- ✚ 勉強は好きになりたい、楽しくやりたい。そのために、学校は学ぶ事が楽しいという環境をつかって欲しい。
- ✚ 学校では、違いを認め合う学級・仲間・学校づくりが必要。違いを認め合う事によって、いじめ等も少なくなっていくのではないか。
- ✚ 子どもたちには、自分の住んでいる地域を大好きになって欲しい。



会場の様子など

教育問題をテーマとして開催するタウンミーティングとしては、今年度4回目です。前回に引き続き、中学生が参加したほか、初めて参加した高校生にも、活発に意見を述べていただきました。

熟議という討議方式を採用し、検討中は年齢に関係なくニックネームで呼びあったり、検討結果の発表では教室での授業ふうの演出を考えたりしながら、ざっくばらんにワイワイ意見交換をしていただきました。

